



策定の目的

市では、平成19年3月に平成28年度を目標年次とするかすみがうら市総合計画を策定し、総合的かつ計画的な行政の運営を実施してきました。次年度に計画期間の満了を迎えることから、平成29年度以降の長期的な展望を示し、かすみがうら市の目指すべき将来像を実現するための行政運営の指針として、第2次かすみがうら市総合計画を策定します。なお、第2次総合計画の策定にあたっては、平成31年度までを計画期間として策定を予定している「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「かすみがうら市人口ビジョン」「創生総合戦略」の内容を包含した計画として策定します。

第2次かすみがうら市総合計画策定に向けて

市が目指すべき将来像を考える

～皆さんの意見・声をお聞かせください～

（岡まちづくり計画担当（千代田庁舎））

策定方針

- ◎基本的調査（平成27年度）
本市を取り巻く状況や住民の意向など、前提となる基礎的な条件の把握と整理を行います。
- ①概況の整理②時代潮流・社会経済情勢の見通しの整理③上位・関連計画の整理④市民意向の把握⑤職員アンケート
- ◎基本構想の策定（平成27年度）
本市の自然・社会・経済的諸条件を勘案し、目指すべき将来像と将来指標などを定め、それらを実現させるための基本的な施策の大綱などを定めます。
- ①将来都市像の確立②将来フレームの設定③土地利用構想④施策の大綱
- ◎計画書・概要版の製本・印刷（平成28年度）
①前期基本計画（骨子案）の策定②庁内における調整・検討③前期基本計画（原案）の作成、概要版（原案）の作成

策定体制

計画の策定にあたっては、市民参加型の話輪囀力カフェや市民アンケート、パブリックコメント（意見公募）などを実施し、市民の皆さまの意見やニーズを把握していきます。その意見を取り入れながら、専門部会と総合計画策定委員会等で整合した計画を、総合計画審査会に諮問し、答申を求めます。その後、市議会に提案し審議していただきます。

◎専門部会（5分野）
基本構想・基本計画の策定に必要な各種データ・資料の収集と整理、素案の作成、各分野の専門事項の調整を行うとともに各種関連計画などとの整合を図ります。

◎総合計画策定委員会
各専門分野において調整された素案について、必要事項の調整・協議を行い、計画全体の整合を図ります。

◎総合計画審査議会
基本構想・基本計画（案）についての諮問に対して、市民の総意を反映した計画とするための答申を行います。

あなたの夢は市の未来 まちづくり交流会『話輪囀力カフェ』



11月14日、あじさい館で市民の方々にまちの将来を語ってもらう話輪囀力カフェを開催しました。市総合計画策定に当たり、若い世代の考え方を反映させようと企画したもので、高校生から40代までの男女約30人が参加しました。参加者は6つのテーブルに分かれ、「将来のまち・私」「市のよくしたいところ」「こんなことをしたい」「市の未来キーワード」の4テーマについて、カフェ感覚で気軽に話し合い、まちの考えをまとめてみました。

「住みやすいまちをアピールしたい」「交通の便を良くしたい」「文化財、特産物のPRで観光につなげることも大切だが、それ以上に定住できるまちづくりをしたい」など、各班から発表されたさまざまな意見は、若い世代からの声として総合計画に反映していきます。

市民の皆さまの声

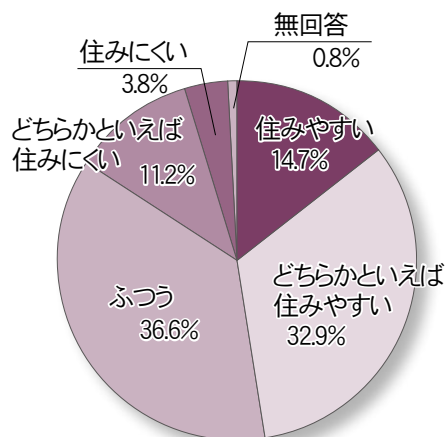
まちづくりアンケート

市の総合計画を策定するに当たり、市民の皆さまの意見・ご提案を生かせるよう、市内在住の16歳以上の方から無作為抽出した2500人を対象に、まちづくりアンケートを実施しました。この結果は、計画策定の基礎資料となります。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

なお、まちづくりアンケートは、平成22年8月にも第1次総合計画の後期基本計画策定のため実施しました。内容によっては、今回と前回の結果を比較した説明を記載している部分があります。

かすみがうら市の住みやすさ

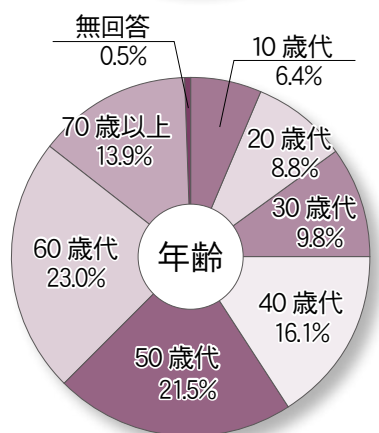
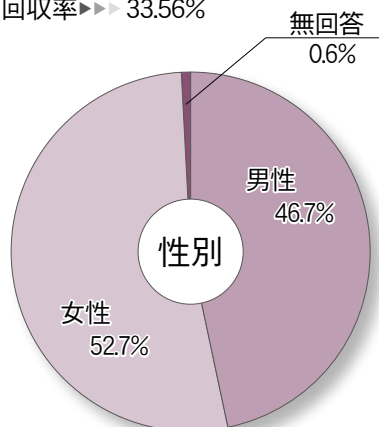
かすみがうら市の住みやすさについての満足度は比較的高く、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」という回答が合わせて47.6%と半数近くを占め、前回より2.1%増えています。



調査回答者

◆アンケート集計

配付数▶▶ 2500票
有効回収票▶▶ 839票
回収率▶▶ 33.56%

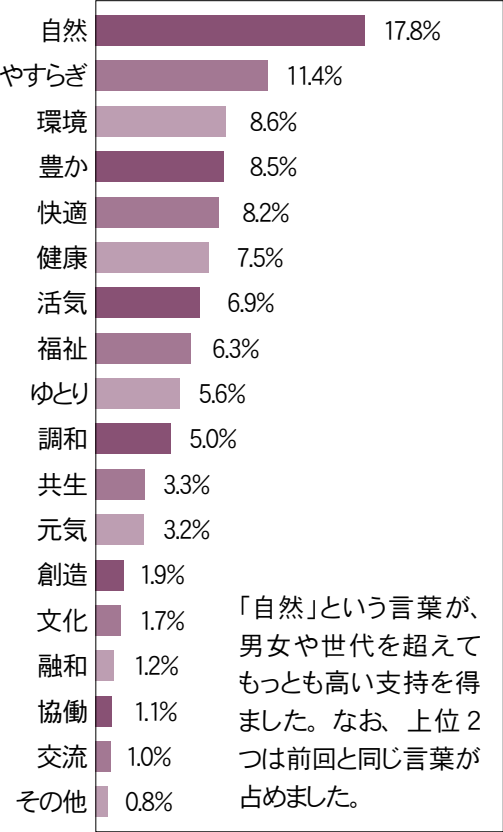


今後のまちづくりで重要なこと

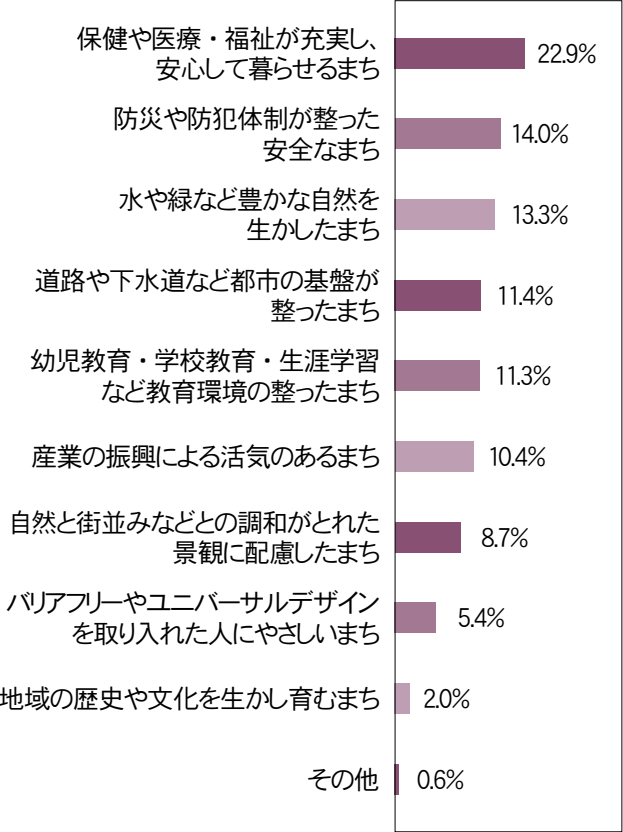
(2つ以内回答)上位3項目を掲載

生活道路の整備、さらに現在進められている神立駅周辺の整備が重要と考えられています。	都市基盤	生活道路の整備	15.8%
		神立駅周辺の整備	14.5%
		街灯の整備	12.1%
交通手段の整備が重要という意見が前回より増えており、バスなどの整備が重要と考えられています。	居住環境	バスなどの交通手段の整備	27.4%
		地域ぐるみでの防犯への取り組み	17.0%
		水や緑など自然環境の保全	13.6%
救急医療体制が重要という割合が前回同様もっとも多く、ほかには福祉関係の充実が重要という割合が増えています。	健康づくり	救急医療体制の充実	23.1%
		在宅福祉など福祉サービスの充実	19.6%
		福祉施設の整備・充実	16.8%
地域全体で子どもを育てる環境づくりが重要という割合が前回同様もっとも多く、ほかには保育所などの充実が重要という割合が増えています。	子育て支援	地域全体で子どもを育てる環境づくり	19.8%
		保育所などの充実	17.5%
		医療福祉制度の充実	16.1%
小・中学校の教育の充実が重要という割合が前回同様、特に高いようです。	教育など	小・中学校の教育の充実	26.3%
		学校と地域との連携の強化	17.4%
		小・中学校の施設の充実	11.6%
後継者の育成が重要だという割合がもっとも多く、さらに商店街の整備・活性化が重要だという割合も前回に比べ増えています。	産業振興	後継者の育成	17.6%
		商店街の整備・活性化	16.0%
		地場産業の振興	12.3%
「働く男女のための育児・介護休業制度の普及や支援体制の強化」が重要という回答した方が突出していました。	男女共同参画	働く男女のための育児・介護休業制度の普及や支援体制の強化	52.2%
		女性の職業意識の向上と就労の促進	18.4%
		男女平等意識の啓発の推進	16.1%
市内や周辺市町村などとの身近な地域間の交流を重要と考えている割合が高いようです。	各種交流事業	地域コミュニティの交流促進	36.9%
		周辺市町村との交流の促進	30.6%
		都市・農村交流の促進	15.5%
「行政事務の簡素化・効率化」が重要と考えている割合が前回に比べ増えています。	行政サービスの向上や行政改革	行政事務の簡素化・効率化	19.0%
		財政の健全化	18.8%
		職員の定員管理および給与の適正化	15.1%

かすみがうら市の将来像のイメージ



将来どのようなまちになってほしいか



生活環境の満足度



生活環境を5つの柱に分けて、具体的な項目(計38項目)ごとに評価を伺ったところ、柱ごとの総合的な評価でいずれも「普通」「やや不満」が多い結果となりました。柱ごとの項目の評価結果については次のとおりです。

都市基盤	総合的にみた都市基盤の満足度	「歩道やガードレールなどの交通安全対策」「高齢者や障がい者などに配慮した道路環境」の満足度が低い一方、「上水道の整備」は満足度が高くなっています。
居住環境	総合的にみた居住環境の満足度	「自然に関わる項目の満足度は高いものの、「娯楽やレジャー」「バスの路線など交通網」への満足度は低くなっています。
健康づくりや福祉	総合的にみた健康づくりや福祉の満足度	「医療体制」や「高齢者・障がい者の福祉サービス」の満足度がやや低いものの、「各種検診などの健康対策」の満足度は高くなっています。
教育や文化	総合的にみた教育や文化の満足度	全般的に「普通」から「やや不満」が多く、なかでも「図書館の施設や蔵書内容」への不満がやや多くなっています。
地域コミュニティ	総合的にみた地域コミュニティの満足度	全般的に「普通」の割合が高い中で、「地域ボランティア」「まちづくりに参加する機会」「高齢者や障がい者が暮らす環境」の満足度が低い結果となっています。